

2005年6月6日

報道関係各位

世界で1万人近くのノバルティス社員がコミュニティ活動を展開

ノバルティス コミュニティ・パートナーシップ・デイ

- 日本では100人以上がチャリティバザー、地域清掃、救命講習会などに参加

1996年4月、チバとサンドの株主総会により両社の合併が承認されたのを記念し、ノバルティスは、毎年4月に「ノバルティス コミュニティ・パートナーシップ・デイ」を定め、4月から5月の2カ月間にわたり、地域社会でのボランティア活動などを実施しています。今年も、子ども病院の運動場補修（ハンガリー）、ホスピスでの緩和ケアの無償提供や庭園建設（イギリス）、視聴覚障害者の社会参加支援（インド）など、1万人近くの社員が世界各地でコミュニティ活動を展開しました。

日本でも、100人以上の社員が様々な活動に参加しました。篠山工場（兵庫県篠山市）では、社員から集められた日用品、本、CDなどをフリーマーケットに出品。その売上金に社員間虚礼自粛による年賀状募金を合わせ、近隣の小学校へ図書、篠山市へ車椅子をそれぞれ寄贈したほか、老人福祉への寄付を行いました。

本社（東京都港区）では、情報システム事業部の社員とその家族・友人が世田谷区の「多摩川クリーン大作戦」に参加し、河川敷の清掃を行いました。また、日本フィランソロピー協会の協力により、視覚障害者など活字メディアによる情報入手が困難な方のための音訳の技術を学ぶ講習会を行いました。

さらに、4月後半から3回にわたり、東京都麻布消防署ならびに東京救急協会の協力により救命講習会を行い、人工呼吸、心臓マッサージ、自動体外式除細動器（AED）などによる救急処置を学びました。家族などの身近な人や、災害・緊急時の救命に役立てようと、約60人の社員のほか近隣住民の方々も講習に参加。生命に関わる事業を行う企業としてより多くの社員が救命の技術を身に付けることができるよう、今後も定期的に救命講習会を開催していく計画です。

ノバルティス ファーマ株式会社 代表取締役社長の馬場宣行は、次のようにコメントしています。「ノバルティス コミュニティ・パートナーシップ・デイの活動が、自発的な広がりを見せつつあることをうれしく思います。ノバルティス ファーマでは、こうしたコミュニティ活動を、高い企業倫理とコンプライアンスを実践する企業であるために不可欠な活動と位置づけ、積極的に推進していきます」

ノバルティス グループの社会貢献活動について

ノバルティス グループの社会貢献活動は、ノバルティス コミュニティ・パートナーシップ・デイにとどまりません。国連グローバル・コンパクトにいち早く賛同した企業の一つとして、ノバルティスは、「人権保護」「公正な労働基準」「環境保全」の課題にグループを挙げて取り組んでいます。

2004年、ノバルティスのAccess to Medicineプログラムにより、経済的理由から十分な治療を受けられない425万人の患者さんが治療薬を手にすることができました。これは5.7億米ドル（約616億円）に相当する規模です。また、シンガポールのノバルティス熱帯病研究所は、開発途上国に蔓延するにもかかわらず、これまでなおざりにされてきた Dengue 熱と結核の治療薬の研究を行っています。さらに、ノバルティス持続可能な開発財団は、25年以上にわたり開発途上国における持続可能な医療システムの開発に取り組んでいます。

ノバルティスについて

ノバルティスは、医薬品とコンシューマーヘルスにおける世界的リーダーです。ノバルティス グループ全体の2004年の売上高は282億米ドル（約3兆507億円）で、当期純利益は56億米ドル（約6,049億円）*、研究開発費は42億米ドル（約4,544億円）でした。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約81,400人の社員を擁しており、世界140カ国以上で製品が販売されています。詳細はインターネットをご覧ください。

<http://www.novartis.com/>

* 2005年の会計基準ベース

以上